車検証の電子化に伴う 書類事務の変更について

MIRIVE

2023年1月実施

電子車検証制度が始まります。
MIRIVEでのお取扱いは以下のようにになりますので、
ご協力をお願い致します。

■ 出品店様 ■

提出された電子車検証は、
ICタグが読めるものに限りです。
(自動車検査証記録事項があっても不可)

自動車検査証 令和2年10月1日 東京運輸支局長 4120000012

品川 399 さ 1234	令和2年10月	普通	乗用 自家用	98765	0001
コクドコウツウ	箱型	車種	車種	車種	車種
ZZZ99-SAMPLE01	ガソリン	車種	車種	車種	車種
ZXX-ABC99	ABC-3DE	750cc	1.59	600	600
国土交通	1350	1625	448	173	149

ICタグ

※破損等でタグが読めない場合は書類不備として、差し替えを求めます。
※書類提出時、自動車検査証記録事項の添付は必須ではありません。

■ 落札店様 ■

① 受け取った電子車検証は、
ICタグが読めない場合でも、
書類受渡は有効に完了したもの
とみなします。
※名義変更には支障がないため。

② 名義変更が完了したら、
電子車検証の写し、
自動車検査証記録事項の写し
のいずれかを提出して下さい。
(電子車検証の発行日を名変完了日とみなします)

■ 2023年1月1日付で規約を改定します。

以下の3点が変更となります。ご確認の上でセリへのご参加をお願いします。

変更点1：電子車検証に関する上記への対応（書類細則）

変更点2：落札店における譲渡証・委任状等の書き損じに関する件（書類細則）

変更点3：出品票への乗車定員記載について（その他クレームの裁定にあたって）

MIRIVE

埼玉会場 TEL 048-583-7811

FAX 048-583-7812

大阪会場 TEL 072-330-2200

FAX 072-334-7700

愛知会場 TEL 0567-31-6151

FAX 0567-31-6152

書類細則

第1条（目的）

MIRIVE規約第9章「登録書類」を補完し、オークションを円滑に運営する目的で、登録書類等の取扱いについて定めます。

第2条（書類の完備）

出品・落札細則第2条（出品出来る車輛の基準）に記載されている書類が全て揃い、且つ指示されている有効期間内である場合を、「**書類の完備**」と言い、全国どこの陸運支局又は検査登録事務所でも登録可能で、かつ、差し替えが必要な場合には速やかに差し替えが可能なものとします。なお、電子車検証においては、ICタグの記録情報が正常に読み取れるものに限ります。これらの書類は出品店において準備して下さい。また、落札店は落札車輛の書類を受け取ったら、書類が完備していること、電子車検証はICタグが正常に読み取れることを速やかに確認する義務を負うものとします。

第3条（有効期限の例外）

- 1 書類を出品店がMIRIVEに提出した時点で、その有効期限が足りない場合、落札店等がそれを了承する限りにおいて、完備した書類の扱いをします。
- 2 実際の書類有効期限より短い日付を「書類有効期限」や「名義変更希望日」などの名目で出品票に記載した場合、出品票に記載された日付を優先します。

第4条（出品店の申し出による車検残の例外）

出品・落札細則第7条の規定に拘わらず、車検残がオークション開催月翌月末以内の車輛を、継続検査の手続きを希望して出品する場合は、出品票に「**ナンバー応談**」と記入し、車検付車輛として出品することができます。落札店が登録抹消を希望するときは、出品店に抹消手続きを行って頂きます。

第5条（落札店の申し出による登録抹消）

車検残がオークション開催月の翌月末以内の車輛を落札した場合、落札店はオークション当日の会場が定める時刻までの間に限り、MIRIVEに登録抹消の希望を申請出来ます。その場合は出品店が抹消手続きを行います。
なお、受付可能時間は各会場毎に定めます。

第6条（特殊事由の書類）

トラブル防止のため、破産・相続（共同相続完了後の継続書類も含む）・未成年・海外移転・移転誓約書・ダブル移転等、地域によって扱いの異なる書類は受理出来ません。必ず自社名義に登録した上で車輛を出品して下さい。但し、ダブル移転であっても、合併など法人の組織変更に伴うものはこの限りではありません。

第7条（納税証明書）

- 1 同一年度内に車検が切れる車輛については、納税確認が電子化されている車輛を除いて、落札店は出品店に対し納税証明書の提出を請求することができます。提出期限は申告日を含む7日以内とし、車検残1ヶ月未満の車輛について提出がない場合はペナルティ10、

000円（以後提出されるまで7日ごとに10,000円）を徴収します。但し、電子的に納税確認ができるようになった場合は、その時点でペナルティのカウントを打ち切ります。尚、軽自動車については落札店にて手配とします。

- 2 出品店側の自動車税未払い、または継続検査時に電子的に納税確認が取れなかった場合は、ペナルティとして10,000円を徴収します。以後、納税証明書が提出されるまで（または電子的に納税確認ができるまで）申告日を含む7日ごとに10,000円を加算します。但し、納付期限内に支払済、または判明時に車検残翌々月以降の場合は、初回ペナルティを免除します。
なお、落札店が自動車税を立替払いした場合は、その金額も出品店より徴収して落札店に精算します。

第8条（リサイクル券）

- 1 リサイクル料金預託済車は、預託済であることを証するリサイクル券を提出書類に添付して下さい。添付がない場合は、書類不備となります。
- 2 リサイクル料金の受渡しは、リサイクル券の券面表示金額により行ないます。
- 3 リサイクル料金の預託状況、及び金額相違の申告は、MIRIVE事務局より書類発送日を含む6日目の正午までとし、出品店・落札店共に精算に従うものとします。

第9条（登録書類等の遅延）

出品店が登録書類等の提出を遅延させた場合、出品店はMIRIVEに次のペナルティを支払って頂きます。但し、MIRIVEが定めた長期休暇等で営業日程が変則になった場合のペナルティは、それを考慮し、その都度明示します。

	遅延期間	金額
遅延1回 に当たり	各会場ごとに定める期限を超えるとき	10,000円
	以後7日毎に	10,000円

なお、上記手数料の金額は、各会場内掲示、WEBサイトへの掲載等の方法により会員に告知します。

第10条（登録書類等の遅延によるキャンセル）

- 1 オークション開催日を含む30日以内に出品店から登録書類等の提出がない場合、落札店はMIRIVEに申し入れて当該車輛の成約を解除することが出来ます。
- 2 前項の理由で成約が解除された場合、出品店はMIRIVEに対して10万円（税抜落札金額が250万円以上の場合は税抜落札金額の4%）の違約金、キャンセル手数料、及び落札店が負担した諸費用の実費を支払います。MIRIVEは、上記金額を出品店から交付を受けた後、違約金、及び落札店が負担した諸費用の実費を落札店に支払います。

第11条（登録書類等の差し替え依頼）

- 1 落札店の責任で登録書類等の有効期限が切れたり書き損じたりして書類が使用出来なくなった場合、又は紛失した場合、及び電子車検証のICチップを破損させた場合、落札店はオークション開催日から180日以内に限りMIRIVEに当該書類（自賠責保険証を除く）の調達差し替えを依頼することが出来ます。その場合の手数料は下記の通りです。

	金額
書類1点につき	20,000円
電子車検証のICチップ破損	20,000円
車検証及び譲渡書類一式	50,000円
抹消書類一式	50,000円

- ① 出品店において他AA会場等に再依頼する際に差損金が発生する場合は、その金額を考慮します。
 - ② 車両情報（車名、型式、車台番号、原動機の型式等）、名義人等の情報（名義人や出品店の住所・氏名・名称等）の書き損じについては、手数料なしで差し替えの依頼ができます。
- 2 前項に基づく差し替え依頼に対し、出品店が修正・再交付する書類が落札店の申入日から30日以内にMIRIVEに到着しなかった場合、落札店は当該車両の成約を解除することができます。その場合、出品店は次のペナルティを、MIRIVEを通して落札店に支払います。

	内容	金額
キャンセル 1件当たり	ペナルティ	50,000円
	落札店が負担した落札手数料等の費用	実費 (但し加修費は含まない)

- 3 出品店の責任による登録書類の不備が、落札店により発見された場合、出品店は速やかに修正または再交付するものとします。その場合、落札店からの申告日を含む7日以内にMIRIVEに到着しなかった場合はペナルティ10,000円、以後7日毎に10,000円を加算します。
- 4 第1項・第3項の手続は必ずMIRIVEを通して行って頂きます。これに違反した場合は、出品店と落札店の双方に当該項目の費用と同額のペナルティをMIRIVEに支払って頂きます。また、落札店が名義人に直接連絡した場合は、第1項の手数料（実費を含む）+ペナルティ50,000円を徴収した上、取引停止にすることがあります。
- 5 落札店が第1項の依頼を行う場合は、原則として車庫証明の写しを添付して行って下さい。また、差し替え後の名義変更は、すみやかに行って下さい。

第12条（自動車税）

- 1 落札された車両の自動車税に関わる手続を行なうにあたって、その自動車税相当額として落札店から次の表に示す分をMIRIVEが預らせて頂きます。

開催月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
預かり	2ヶ月分	1ヶ月分	12ヶ月分	11ヶ月分	10ヶ月分	9ヶ月分

開催月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
預かり	8ヶ月分	7ヶ月分	6ヶ月分	5ヶ月分	4ヶ月分	3ヶ月分

- 2 落札店が本細則第14条に従って名義変更の報告をMIRIVEに行なった時点で、MIRIVEは以下の通り自動車税相当額を返却いたします。

- ①落札車輛が移転登録された場合（他県・同県を問わず）は、次の表に従って返却します。尚、1月開催分以前のものが年度を越した場合は、不足分を落札店より追加徴収いたします。

名義変更月	AA 開催月	出品店に返金	落札店に返金
年度内	3月以外	預り金の全額	無し
	3月	無し	1 2ヶ月分
年度越 (4月)	3月以外	預り金の全額+ 1 2ヶ月分	1 2ヶ月分を追徴
	3月	1 2ヶ月分	無し

- ②落札車輛が抹消登録（転入抹消を含む）された場合は、次の表に従って返却します。

名義変更月	AA 開催月	出品店に返金	落札店に返金
年度内	3月以外	オークション開催月から、名義変更登録月迄の月数分を返却。	預り金から、出品店返却金額を差し引いた分を返却。不足金の時は、追加徴収します。
	3月		
年度越 (4月)	3月以外		
	3月		

- 3 自動車税相当額等の精算は毎月2回行います。締め日・支払日は各会場ごとに定めます。
4 名義変更後の新車検証の写しが届出期限までに提出されない場合は、本細則第15条に従って処置を行います。

第13条（軽自動車税）

- 1 軽自動車税の名義変更保証金は、落札店から次の表に示す分をMIRIVEが預からせて頂きます。

	金額
車輛1台当たり一律	15,000円

- 2 落札店は速やかに名義書換を行い、その写しをMIRIVEに届けます。その結果を確認して名義変更保証金の精算を次の表に従って行います。

名義変更	出品店に返却	落札店に返却
成約月と同年度	無し	15,000円
成約月から年度超え	年税相当分	年税相当分を引いた残り

- 3 前項の届けが無い場合は、落札店は返金を受ける権利を放棄したものとみなします。
4 落札店側における税止め処理が不十分で出品店より申告があった場合、MIRIVEは落札店に対し、ペナルティとして10,000円及び実費を徴収し、かつ、申告日を含む7日以内に完全な税止め処置を行うことを求めます。

第14条（名義変更）

- 1 落札車輛の名義変更期限は、オークション開催日の翌月末（それより短い日の記載が出品票にある場合はその日）とします。
2 落札店からMIRIVEに提出する名義変更届の期限は、名義変更期限の翌日から起算して5日目の17時とします。届出は、オークション開催日、出品番号及び落札店の会員番号を記載して、新検査証の写し及び自動車税申告書の写しを、電子車検証については車検証閲覧アプリよりダウンロードした車検証情報記録「自動車検査証記録事項」の写しを提出してください。なお、電子車検証の写しでも受付はしますが、出品店からの要

望があった場合は、自動車検査証記録事項を再提出していただくことがあります。

第 15 条（名義変更届の遅延）

- 1 期限までに届が提出されなかった場合、MIRIVE は名義変更の事実を現在証明にて確認します。この場合、手数料として落札店から 3,000 円を徴収します。
- 2 前項によっても名義変更の確認が出来なかった場合、落札店は第 12 条及び第 13 条に定められた自動車税に関わる預かり金について、返金を受ける権利を失います。

第 16 条（二次抹消）

落札店等が落札車輛を一旦名義変更を行った後に抹消登録をした場合は、その抹消登録の日付の翌月 5 日までに MIRIVE へ抹消謄本のコピーを提出して下さい。還付分については、出品店に請求します。

第 17 条（抵当権等）

- 1 落札車輛に抵当権その他の担保権の設定があると判明した場合、ペナルティ 10,000 円を出品店より徴収します。出品店は出品店の負担において担保権の解除を行なって下さい。落札店からの申告日を含む 7 日目の 17 時までに解除済の現在登録証明書（コピー可）が提出されなかった場合はペナルティ 10,000 円を追加徴収し、以後 7 日毎に 10,000 円を加算します。申告後 30 日以内に解除できない場合は、本細則第 10 条に定める登録書類の提出がない場合と同等とみなし、同条に準じて落札店は当該車輛の成約を解除することができます。
- 2 前項の事情により、落札店が出品店に代わって担保権解除の手続を行う場合は、事前に MIRIVE へ届け出て了承を得て下さい。

第 18 条（実費）

ペナルティ等で支払う「実費」とは、常識的な経費で領収書が発行されているものです。

第 19 条（名義変更前の交通違反）

落札店が落札車輛を名義変更する前に交通違反等（迷惑駐車を含む）を起こし、出品店及び旧所有者等に迷惑をかけた場合、MIRIVE の裁定により落札店はペナルティ 30,000 円を MIRIVE に支払った上で、違反等の事実判明後 10 日以内に名義変更を完了し、車検証の写しを MIRIVE に届け出て下さい。なお、落札店が非協力的な場合は、ペナルティ 20,000 円を加算します。

第 20 条（リサイクル法における引取報告の治癒）

- 1 落札車輛について、自動車リサイクル法における引取報告等により、完全な所有権の移転ができない場合、出品店はその申告日を含む 7 日以内に瑕疵を治癒して下さい。当該期限を遅延したとき、出品店は落札店に遅延ペナルティとして 10,000 円を支払うものとし、それ以降 7 日遅延するごとに 10,000 円を追加するものとします。
- 2 前項の申告があった日から 30 日以内に出品店が瑕疵を治癒できない場合、落札店は契約を解除することができます。
- 3 第 1 項の申告期限は、オークション開催日から 180 日以内とします。

第 21 条（交通違反等による車検拒否）

- 1 落札車輛について、当該オークションでの成約前に発生した交通違反等により車検の取得ができない場合、出品店はその申告があった日から 6 日以内に瑕疵を治癒して下さい。当該期限を遅延したとき、出品店は落札店に遅延ペナルティとして 10,000 円を支払うものとし、それ以降 7 日遅延するごとに 10,000 円を追加するものとします。
- 2 前項の申告があった日から 30 日以内に出品店が瑕疵を治癒できない場合、落札店は契約を解除することができます。
- 3 第 1 項の申告期限は、オークション開催日から 180 日以内とします。

付則

- (1) 本細則は平成 11 年 7 月 1 日より施行します。
- (2) 本細則は平成 29 年 12 月 1 日より改正施行します。
- (3) 本細則は平成 31 年 1 月 1 日より改正施行します。
- (4) 本細則は令和 1 年 10 月 1 日より改正施行します。
- (5) 本細則は令和 3 年 4 月 1 日より改正施行します。
- (6) 本細則は令和 4 年 1 月 1 日より改正施行します。
- (7) 本細則は令和 5 年 1 月 1 日より改正施行します。

その他クレームの裁定にあたって

本裁定は、オークション取引に伴うクレーム等の解決にあたり、売買当事者双方が理解並びに協力いただく補足事項とします。出品者は出品に際し、出品車輛をあらかじめ点検し、瑕疵箇所・欠品等については自己申告が前提となっております。従って受付期間内に発生したクレームについては、クレーム裁定基準に基づき出品店責任とします。

- (1) 出品車輛の乗車定員は、出品リストに記載するものとします。未記入の場合、新車時の定員から変更されているものは、MIRIVEの裁定によりクレームとなる場合があります。
- (2) バン・トラックの低床・高床は、出品リスト未記入の場合は「不明扱い」とさせていただきます。
- (3) 輸入車の場合、ディーラー車・並行車(新車または中古)の申告の義務があり、未記入の場合は不明として扱います。また、モデル年式が未記入の場合は不明として扱います。
- (4) 社外品に関しては、特記事項に申請の義務があり未記入の場合はクレームとなる場合があります。
社外品多数の場合は重要部品を必ず明記することを必要とします。
- (5) 部品支給にて対応する場合は、MIRIVEを経由して落札店へ送付するものとします。また、落札店への送付費用実費を請求させていただきます。
- (6) 後送品 (SD/ロム・カード類・リモコン・EV車の充電ケーブルなど車外へ容易に持ち出せるものを含む) は、書類と一緒に事務局へ提出するものとし、事務局より書類発送日を含む6日目の正午までクレームを受け付けます。出品車両に入れたままで盗難にあってもMIRIVEには責任はなく、出品店の責任としてクレームを受け付けます。出品票記入の装備品は操作するのに必要な為、部品代2万円以下でも現品支給または値引きとします。後日部品を送る場合の送料は出品店の負担とします。
また、出品票に後送の記載がある場合も、書類と一緒に事務局へ提出するものとします。
なお、以下のものは車種にかかわらず、一律金額で値引き処理します。

取扱説明書：国産車2500円・輸入車5000円、ナビ取：2000円、B-cas：2000円

- (7) 出品車輛の内外装評価についてはあくまでも参考であり、万一違いが生じたとしてもノークレーム扱いとします。
- (8) 現状車・冠水車・消火器散布車は未検査車輛につき、基本ノークレームとします。但しメーター関係(改ざん等)、盗難車、接合車、記載内容の相違はクレームとします。また、出品票記載事項のうち、装備品、セールスポイント、その他MIRIVEが不適格と判断した事項は、消し無効とします。
- (9) セールスポイント、及び出品店記入欄において、TV、グレードマルチと記入する場合は、TVの地上デジタル放送(地デジ)が視聴できるものに限り、地デジが視聴できない場合はクレームとします。また装備品欄のTV(○印)は地デジが視聴できるもののみを可とします。(社外チューナーも可)
- (10) 純正ナビの装備欄の○印については前モデルまでを可とします。
- (11) セールスポイントに記入した装備品は正常に作動することが前提となります。型式・品番を記載した場合は全ての機能が作動するものとし、その他は記載の内容のみ作動するものとします。
- (12) 福祉車両の消費税の取扱い、消費税課税対象とします。但し、出品店による非課税申告もしくは、落札店による非課税申告に出品店が承諾した場合については、落札店は出品店への消費税相当額の支払いを免除されます。
落札店からの申告期限は、事務局より書類発送日を含む6日目の正午までとします。
- (13) 出品店は名変期限より長い有効期限の書類を提出するものとします。
期限が短い書類のまま落札店が承諾した場合は、出品店から落札店に20,000円のペナルティを支払うものとします。
- (14) エンジン・ミッション不具合とは、不調、振動、白煙、音、異音、オイルもれ、水もれ等、修理を要するものも含まれます。

●保証書・記録簿について

- ① 保証書・記録簿は書類と一緒に事務局へ提出するものとします。
出品車の中に入れてきたままでなくなった場合は、出品店責任となりクレームとなります。
- ② 未着の受付については、事務局より書類発送日を含む6日目の正午までとします。
未着を受付してから、会場到着7日間以内、再交付は会場到着14日以内とし、その時点でも対応できない場合はクレーム処理とします。
- ③ 保証書とは、車輛情報の記載があるものとし、保証期間の残っているものについては、保証の継承ができるものに限り、継承できないものは、事務局より発送日を含む30日以内に限りクレームとして受け付け、値引きもしくはキャンセルとし、キャンセルの場合はペナルティ2万円+諸経費(逸失利益は含まない)とします。
- ④ 保証書に関するクレーム裁定は、以下の通りとします。

新車登録(保証書登録)	当年~1年落ち	5万円
	1年~2年落ち	4万円
	2年~3年落ち	3万円
	3年~5年落ち	2万円

キャンセルの場合は、ペナルティ2万円

※保証期間経過後で車輛情報の記載が無いものは保証書無しとして扱い、値引き2万円(キャンセルの場合ノーペナ)とします。

- ⑥ 記録簿は、法定点検を行なっているものとし、ペナルティは2万円を上限とします。

●年式・グレード・初年度登録月・車検月違いについて

① 年式

値引きの場合 個別対応とする

キャンセルの場合 ペナルティ2万円とする

② グレード

値引きの場合 個別対応とする

キャンセルの場合 ノーペナキャンセルとする

※上位グレードの場合は、ノーペナキャンセルのみ受け付ける

③ 初年度登録月（6ヶ月以上の相違）

値引きの場合 1ヶ月(普通車5千円・軽自動車3千円)×上限6ヶ月

キャンセルの場合 ペナルティ2万円とする

④ 初年度登録月（6ヶ月未満の相違）

値引きの場合 1ヶ月(普通車5千円・軽自動車3千円)×月数

但し、会場が認めた場合ノーペナキャンセル。

⑤ 車検月（6ヶ月以上の相違）

値引きの場合 1ヶ月(普通車5千円・軽自動車3千円)×上限6ヶ月

キャンセルの場合 ペナルティ2万円とする

⑥ 車検月（6ヶ月未満の相違）

値引きとする。 1ヶ月(普通車5千円・軽自動車3千円)×月数

⑦ 車検付出品が抹消の場合

値引きの場合 個別対応とする

キャンセルの場合 ペナルティ2万円とする

●メーター関連・ワンオーナーについて

① メーター改ざんのクレーム対応について

メーター改ざんのクレームは、AA当日を含む180日（車検証・保証書・記録簿など書類送付物で判明した場合は、書類発送日を含む30日）とします。

落札店は、点検記録簿・整備手帳等の提示が必要となります。

キャンセルの場合 ペナルティ（出品店関与は10万円、不関与は5万円）＋諸経費（遺失利益は含まない）

※ かかる諸経費については、事務局にて、調整する場合があります。

② メーター交換記入漏れの対応について

メーター交換記入漏れのクレームは、AA当日を含む180日車検証・保証書・記録簿など書類送付物で判明した場合は、書類発送日を含む30日）とします。

落札店は、点検記録簿・整備手帳等の提示が必要となります。

キャンセルの場合 ペナルティ 5万円＋諸経費（遺失利益は含まない）

③ 積算計1回転車輛の対応について

クレーム受付期間は、AA当日を含む180日（車検証・保証書・記録簿など書類送付物で判明した場合は、書類発送日を含む30日）とします。落札店は、点検記録簿・整備手帳等の提示が必要となります。

キャンセルの場合 ペナルティ 5万円＋諸経費（遺失利益は含まない）

④ ワンオーナーについて

ワンオーナーとは、新車登録より使用者が同一のもの。またはその後商品車登録されたものとします。

（当会場が相当と認めたものに限る。事業用・レンタカーは除く。）

軽自動車のワンオーナーは、出品店が証明できるものとします。

（出品店はクレームを受けてから7日間以内に事務局に提出ができるものとします。）

値引き 2万円以上

キャンセル ペナルティ2万円

⑤ 走行「#」（走行不明）表示車輛のキャンセル対応について

記録簿等によりメーター改ざん「*」が立証された場合は、クレームとします。

クレーム受付期間は、AA当日を含む180日（車検証・保証書・記録簿など書類送付物で判明した場合は、書類発送日を含む30日）とします。

落札店は、点検記録簿・整備手帳等の提示が必要となります。

キャンセルの場合 ペナルティ（出品店関与は10万円、不関与は5万円）＋諸経費（遺失利益は含まない）

（係る諸経費については、事務局にて調整する場合があります。）

⑥ タコグラフ装着車について

車輛総重量8トン未満、最大積載量5トン未満のトラック等、法律上タコグラフ装着が義務付けられていない車輛で、積算距離計とタコグラフが一体式で装着されている車輛は、タコグラフを新車時に取り付けたものと見なし、走行距離記入欄に走行距離計が示す距離数値を記載します。

タコグラフの製造年月が対象車輛の初年度登録年月より、

以前の場合・・・新車時に取付したものと見なし、実走行扱いとします。

以降の場合・・・途中で取付したものと見なし、「メーター改ざん」扱いとします。

但し、交換記録がある場合には「メーター交換車」扱いとします。

●その他注意事項

1. 出品申込書の装備品の欄は純正品の装着もしくは、純正品が提出できるのみの記入とします。(地デジチューナーは除く)
2. メーターに疑義がある場合は、現在のメーター表示 km と「*」を出品申込書の走行 km 記入欄に記入し、疑義の根拠、及び推定走行 km を出品店記入欄に明記してください。
3. メーター交換歴がある場合は、交換時の走行 km と交換後の実走行 km の合算値、及び「\$」を出品申込書の走行 km 記入欄に記入し、交換した日付とその時点での走行 km、交換したメーターの距離数、及び「メーター交換車」の表示を出品店記入欄に明記してください。
なお、ディーラーによるセットアップ交換は実走行とみなしますので、走行距離計が示す数値を走行距離欄に記載して下さい。
4. 出品申込書に車色・カラー番号は必ず記載してください。記載した車色とカラー番号が違う場合は、カラー番号を優先とします。カラー番号が未記入で相違があった場合は会場判断でクレームになることがあります。
5. 出品車輛が車検付きの場合は、出品票に車検月・登録番号を必ず記載する義務があり、車輛にナンバーが装着されていることが前提となります。従って、名変中車輛（普通車）は、トラブル防止等の関係上出品を取り消し、AA出品車から外させて頂きます。(尚、出品料は徴収させて頂きます。)
6. 直接連絡以外でも、出品店及び旧所有者に迷惑をかけた場合、MIRIVEの裁定により落札店に対してペナルティ 30,000 円を科するものとします。